

神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（改定案）に関する市民意見と神戸市の考え方

意見 No.	意見本文	神戸市の考え方
1	<p>ホール設置について、予算の関係上多目的ホールに変更になったとのことですが、ここはやはり神戸の音楽文化レベル維持のため、原案通り音楽専用ホールを設置してほしいです。</p>	<p>コロナ禍により文化芸術・エンターテインメント業界は厳しい状況が続いており、その支援や活躍の場を確保する取り組みが喫緊の課題となっています。</p> <p>また、コロナ禍の中で舞台芸術、とりわけ音楽の提供方法が多様化され、例えば無観客公演での動画配信や、屋外など様々な場所における演奏機会の増加など、計画策定時から様々な状況の変化が生じており、その変化に対応していく必要があると考えています。</p> <p>そのため、雲井通5・6丁目地区再整備のⅡ期で整備する中ホールにおいて音楽・舞台芸術の両機能を充実させることで、Ⅰ期の大ホールと合わせて、現文化ホールが担ってきた機能・役割を継承するとともに、オンライン配信や映像技術など、最新技術を積極的に活用することにより、これからの多様な利用形態に対応していきたいと考えています。</p> <p>同時に、コロナ禍で生じた文化行政ニーズに対応し、神戸の文化芸術に関わる多くの関係者の活躍の場を守るため緊急支援策を実施しているところですので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
2	<p>神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（改定案）につきまして、私見を申し上げます。</p> <p>[対象箇所] 7ページ (2) 市民交流・発信機能（市民利用空間） 8ページ (3) にぎわい機能</p> <p>[私見] にぎわい機能の一角で、期日前投票ができるよう、お願いいたします。</p> <p>[理由] 三ノ宮駅から近いので、若年層の投票を呼び込めるからです。</p> <p>[背景] 若年層の投票率が低いです。 期日前投票の投票率が上昇しております。 以上、お手数ですが、ご検討をお願い申し上げます。</p>	<p>新庁舎・にぎわい施設内に整備する予定である市民利用空間では、周辺エリアを繋ぐ結節点として、市民や来街者が気軽に立ち寄ることができる空間としていきたいと考えております。また市民にとって神戸に暮らし、働く魅力が高められるとともに、この地にふさわしい観光集客や神戸独自の文化の振興など、国内外に神戸らしさを発信できるようなにぎわい機能の導入を図りたいと考えております。</p> <p>投票率向上の取組については、引き続き検討してまいります。</p>
3	<p>とくに意見なし。 改定案の通り進められたし。 PFI事業者に変な負担や要望がされないようにするのが三宮再整備課や市職員の責務であると認識するように。</p>	<p>新庁舎・にぎわい施設は三宮駅周辺と、旧居留地やウォーターフロント等のエリアを行き来するための結節点に位置していることから、新庁舎・にぎわい施設を中心として各エリアへの回遊性が向上し、にぎわいが生まれるよう、魅力ある施設の整備を進めていきます。</p> <p>民間事業者に対しては、これまでマーケットサウンディングや追加意向調査等において、意見を聴取しながら事業を進めているところです。</p> <p>引き続き、本基本計画を基に事業を進めていきたいと考えております。</p>

神戸市役所本庁舎 2 号館再整備基本計画（改定案）に関する市民意見と神戸市の考え方

意見 No.	意見本文	神戸市の考え方
4	<p>2. 整備の基本方針④環境・防災への配慮「災害時における庁舎の機能継続や施設利用者の安全確保等を図るため、防災対策強化を進めます」との方針に賛同致します。</p> <p>災害時における庁舎機能の継続や集客施設利用者の安全確保のためのBCP対策として、耐震性の高い中圧ガス管の利用および停電対応型ガスコージェネレーションシステム等の分散型電源による電源の多重化を図るべきと考えます。隣接する連絡ロビー・エネルギー施設の計画には「コージェネレーションシステム等の導入を検討し、電源の多重化を図る」との方針が示されていましたが、本計画には明記されておりません。是非、本計画にも同様の方針を示されることを望みます。</p>	<p>災害時における庁舎の機能継続や施設利用者の安全確保等のため、BCP対策は重要と考えています。本事業では、庁舎機能に加えて、にぎわい・集客機能、にぎわい・商業機能等を含めた複合施設となることから、民間事業者からの提案も踏まえつつ、安全性、環境性、経済性等の観点から検討を進めてまいります。</p>
5	<p>市役所 2 号館跡に計画されていた音楽専用ホールが中止になったことは、極めて残念です。</p> <p>新・2 号館に予定されている「にぎわい施設」の空間に、300 席程度の演劇専用劇場、また同程度の音楽小ホール（需要は高い）を新たに組み込んでください。</p> <p>民間に丸投げするのではなく、行政が文化芸術を守り育てていく姿勢を示してください。</p>	<p>小規模なホール機能につきましては、雲井通 5・6 丁目地区再整備事業（Ⅰ期：雲井通 5 丁目地区）の中に整備する大ホールエリアに、市民の文化交流を目的とした発表会や集会、大練習室としても使える多目的スペースを整備する予定です。具体的な広さや席数、機能等は頂いたご意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p> <p>なお、雲井通 5・6 丁目地区再整備のⅡ期で整備する中ホールにおいて音楽・舞台芸術の両機能を充実させることで、Ⅰ期の大ホールと合わせて、現文化ホールが担ってきた機能・役割を継承するとともに、オンライン配信や映像技術など、最新技術を積極的に活用することにより、これからの多様な利用形態に対応していきたいと考えています。</p> <p>同時に、コロナ禍で生じた文化行政ニーズに対応し、神戸の文化芸術に関わる多くの関係者の活躍の場を守るため緊急支援策を実施しているところです。</p> <p>神戸の文化芸術の灯を守るため、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
6	<p>音楽ホール設置中止に伴い、「文化創造」という言葉が、無くなっているのが残念です。人と人が交流するには「場」が必要。「にぎわい」、文化はその中心となり得る。コミュニティスペースはあるようですが、照明、音響設備整った小ホール機能を持ったスペースの設置を希望します。</p>	<p>小規模なホール機能につきましては、雲井通 5・6 丁目地区再整備事業（Ⅰ期：雲井通 5 丁目地区）の中に整備する大ホールエリアに、市民の文化交流を目的とした発表会や集会、大練習室としても使用出来る多目的スペースを整備する予定です。</p> <p>具体的な機能等は頂いたご意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p>
7	<p>現在、神戸市内では大規模な美術展が開催できる公的なギャラリーは、県立の原田の森ギャラリー（灘区）や県民アートギャラリー（県庁前）ぐらいしかなく、三宮周辺には全くありません。以前は、市役所 1 号館に市民ギャラリーがありましたが、それも庁舎建て替えに伴い、利用できなくなりました。</p> <p>日々多くの人々が往来する都心にギャラリーが整備され、素晴らしい美術作品が展示されるようになると、市民にとって芸術鑑賞の機会が増えるとともに、美術家にとっても創作意欲が高まり、芸術性の向上が期待できます。</p> <p>については、都心部に公的なギャラリーを整備してもらえないでしょうか。文化芸術・市民文化の発展向上のため、鑑賞の場及び発表の場となる活動基盤の整備について、行政がその役割を十分に発揮していただくことを願っています。</p>	<p>芸術鑑賞が出来る公的ギャラリーは都心部においても必要であると考えています。</p> <p>今後、三宮再整備の中でどのようなことができるか検討していきたいと考えています。</p>